

## 南極観測の新たな展開

### New era of the Japanese Antarctic Research Program

# 白石 和行 [1]

# Kazuyuki Shiraishi[1]

[1] 極地研

[1] NIPR

IGY から 50 年を経て、次の半世紀時代に入った日本の南極観測事業は、新観測船の就航という援軍を得て、新たな展開を始める条件が整ってきた。

南極観測は国家事業として文科省に設けられた「南極地域観測統合推進本部」(南極本部)が、その準備と統合推進に当たっているが、定常観測を担う官庁や研究観測を担う国立極地研究所は企画の立案や計画のフェジビリティなどの具体的な準備にあたっている。この1年、南極本部や国立極地研究所では新たな南極地域観測事業の在り方を探ってきた。そこでは、新観測船時代の南極観測のビジョンを掲げ、その実現への提言をしている。本講演では、新世代の南極観測体制構築への取り組みを紹介し、併せて多方面の研究者や研究コミュニティからの要望や意見をさらに取り入れたい。